

みんなで創る！ みんなが幸せな社会

北九州市地域福祉計画策定懇話会

インクルーシブ社会をめざして



一般社団法人 生き方のデザイン研究所



生き方のデザイン研究所

インクルーシブデザイン思考で社会を変えるNPO

＊障害のある人とない人が「ともに」誰もが幸せな社会を創ります！

障害のある人もない人も **ともに**

自分らしくイキイキと

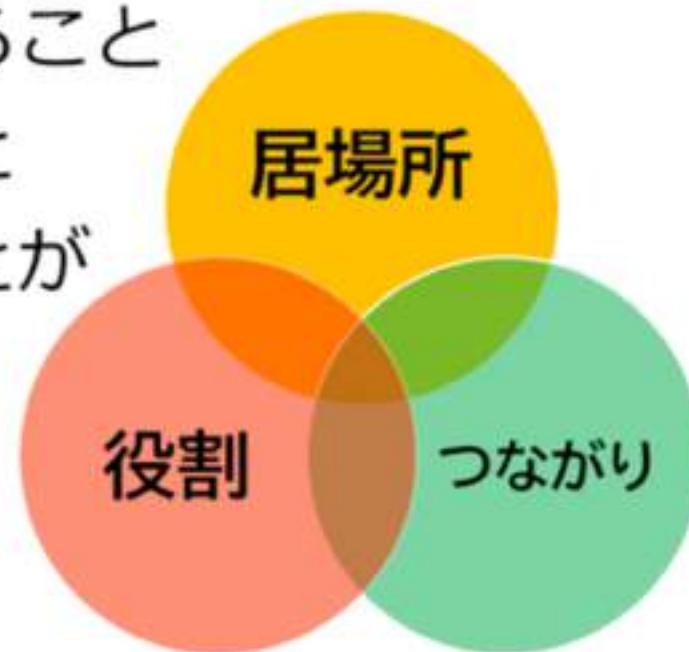
安心して暮らすことのできる社会の実現のために

私たち一人ひとりが大切にされること

私たち一人ひとりが参加すること

私たち一人ひとりがつながることが

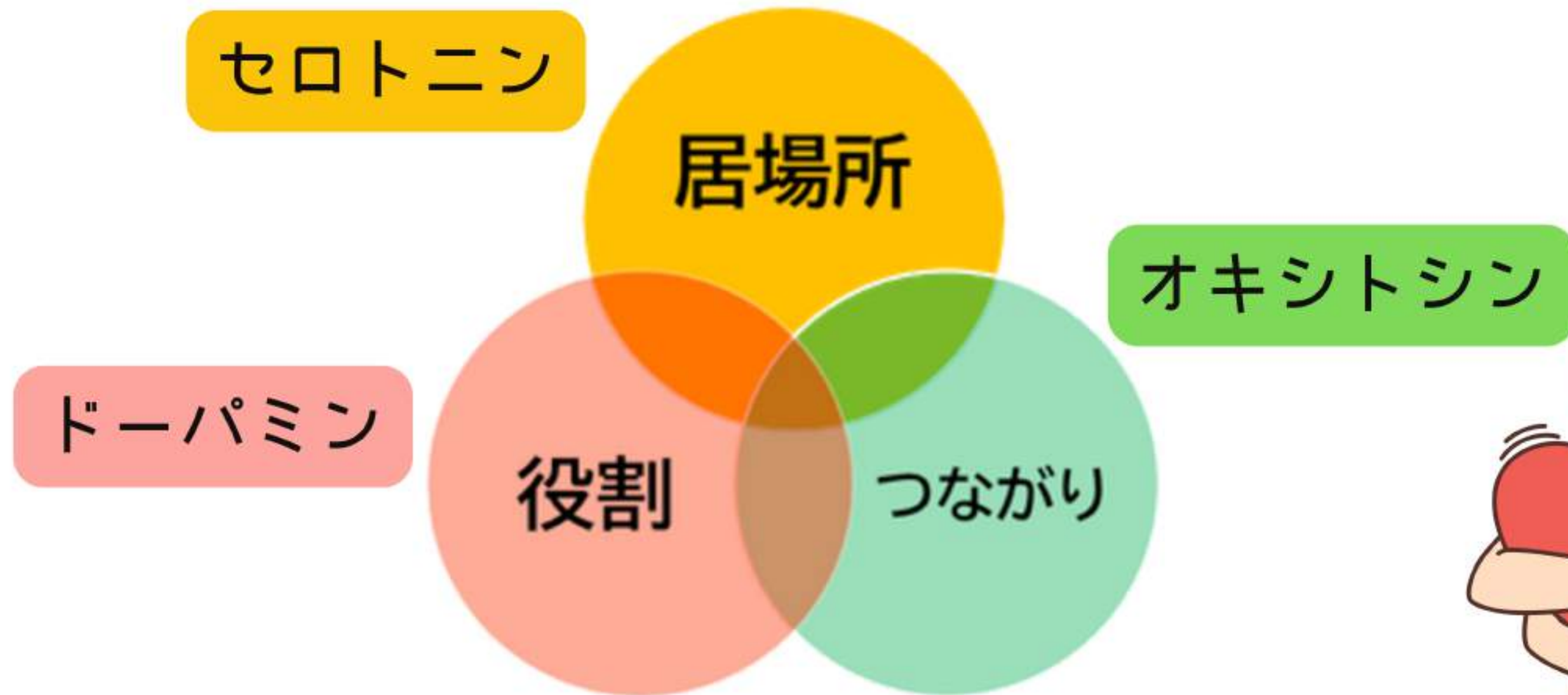
大切だと考えます



生き方の
デザイン
研究所

幸せホルモンのひみつ

生きていて良かった…幸せな人生だった…と思える幸せ





生き方のデザイン研究所
設立記念パーティ2013.4.1



もりもりの森の家
手作りお味噌ワークショップ

MISSION（使命）

合言葉：カオスdeぺ！



私たちは、
インクルーシブデザイン思考で
新たな社会のしくみや役割を創造します！



障害があることで我慢したり、あきらめたりせずに、
「障害」が強みに感じられる社会を目指します！

MISSION（使命）

合言葉：カオスdeぺ！？

一人ひとりが大切にされる…？
誰一人取り残されない…？

前提：権利と権利は、ぶつかり合うもの！

アイデンティティ

自由

生存

保護

愛情

創造

怠惰

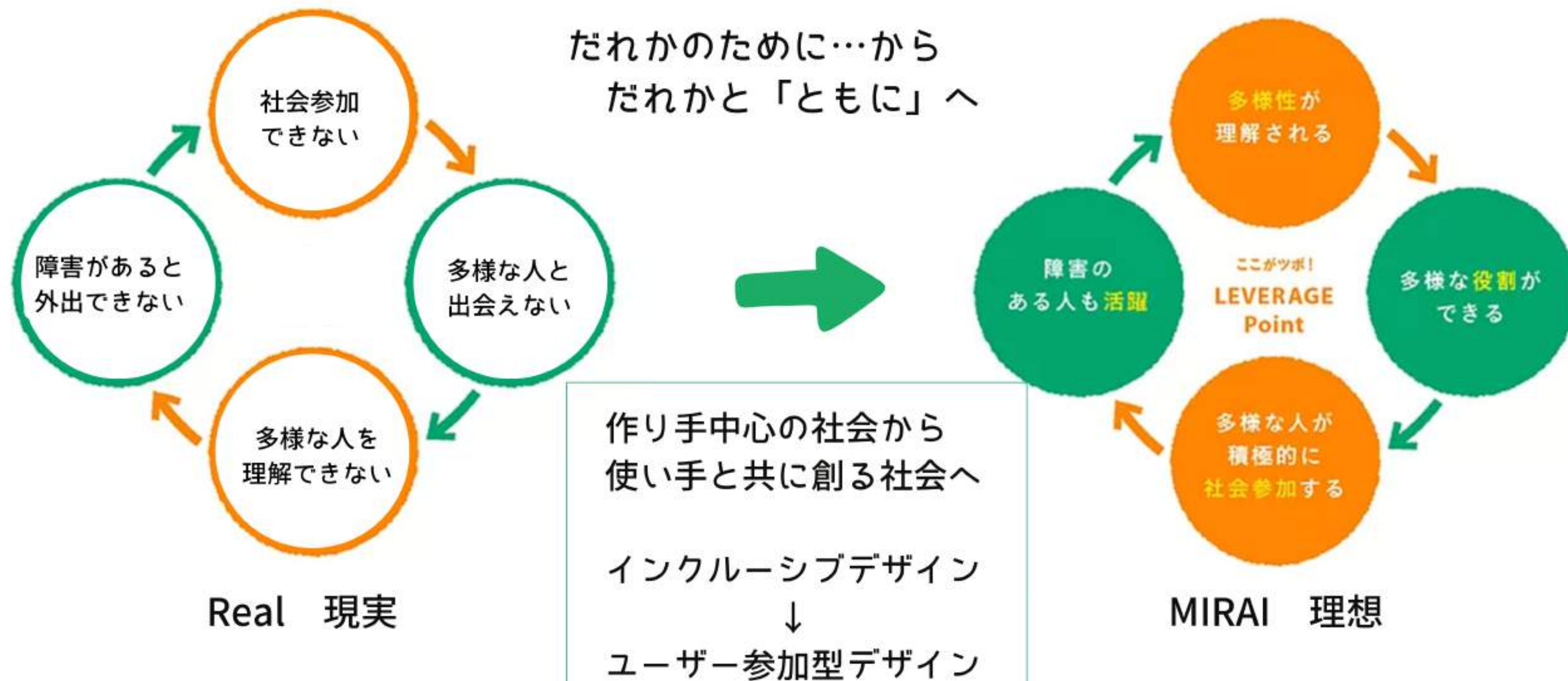
参加

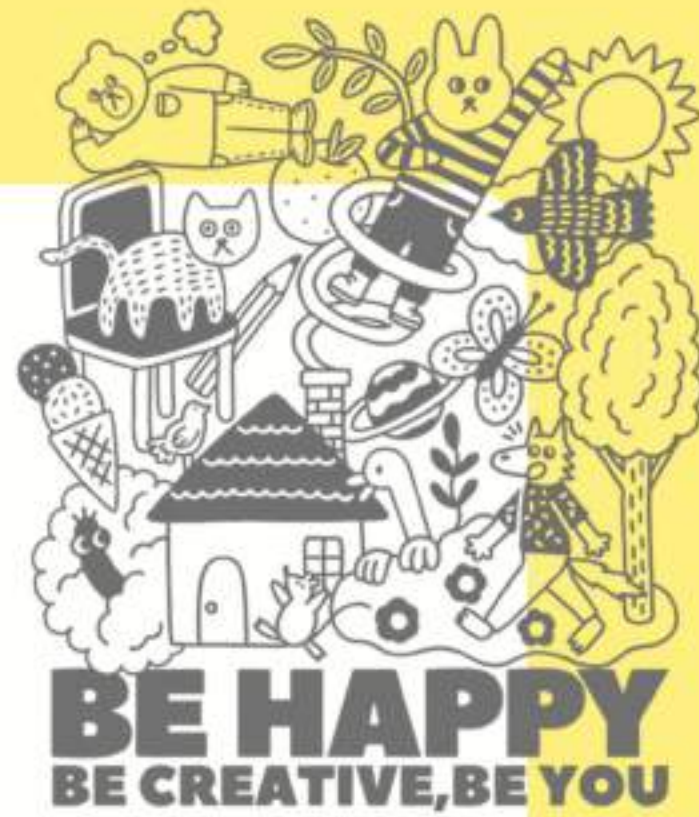
理解

● 人の基本的ニーズ



Message for All





地域と福祉…地域の福祉？

1. 「地域」…なんか、遠い コミュニケーションワーク
2. 「忙しい」って、うらやましい 誰かの夢は、みんなの夢
3. 「参加」したいけど、混ざりたいわけじゃない 有権者フレンドリー投票
4. 「相談」するくらいなら、死んだほうがまし なんでもないサロン
5. 「いのち」どうせ…助からないもん Bousaiと福祉
6. 「普通」でいたいだけなのに… 啓発！生き方のデザイン授業
7. 「居場所」…他にいくところないもん 小規模共同作業所ビリーブ
8. 「最期」くらい自分らしく逝かせて！ 看取りの学び

VISION（中期目標）

合言葉：カオスdeぺ！

「支援」されたり、「支援」したり
したくない！！

iii
ごちゃごちゃしてるから
たのしいんだ！



ごちゃまぜ！じゃなくて...
ごちゃごちゃなのです！

自分の居心地の良さは、自分でつくる！



一人でも、みんなでも
ほっとできる



非日常のおすそわけ
誰かの役にたってうれしい
体験ツアー

生き方のデザイン研究所

インクルーシブデザインで
社会を変える！
生き方デザイナーに会えるところ

夢のごちゃ

夢と生きがいシェアする
居場所・役割・つながりの空間

ごちゃハウス♪



さりげなくそばにいて
頼ってもいい人がいる



自由と安心が自分らしい



カウダにここに地球に
やさしい生き方を育てる



住む人
旅する人
いつも
たまに
じっくり
さらっと
どなたでも

誰かの好き・得意が集まる場所

みんなの居場所を
みんなでクリエイティブ



VALUE（行動）

合言葉：カオスdeぺ！



障害があるからできること
小中学校・地域・
企業での啓発活動



誰ものが安心して
過ごせるサロン活動

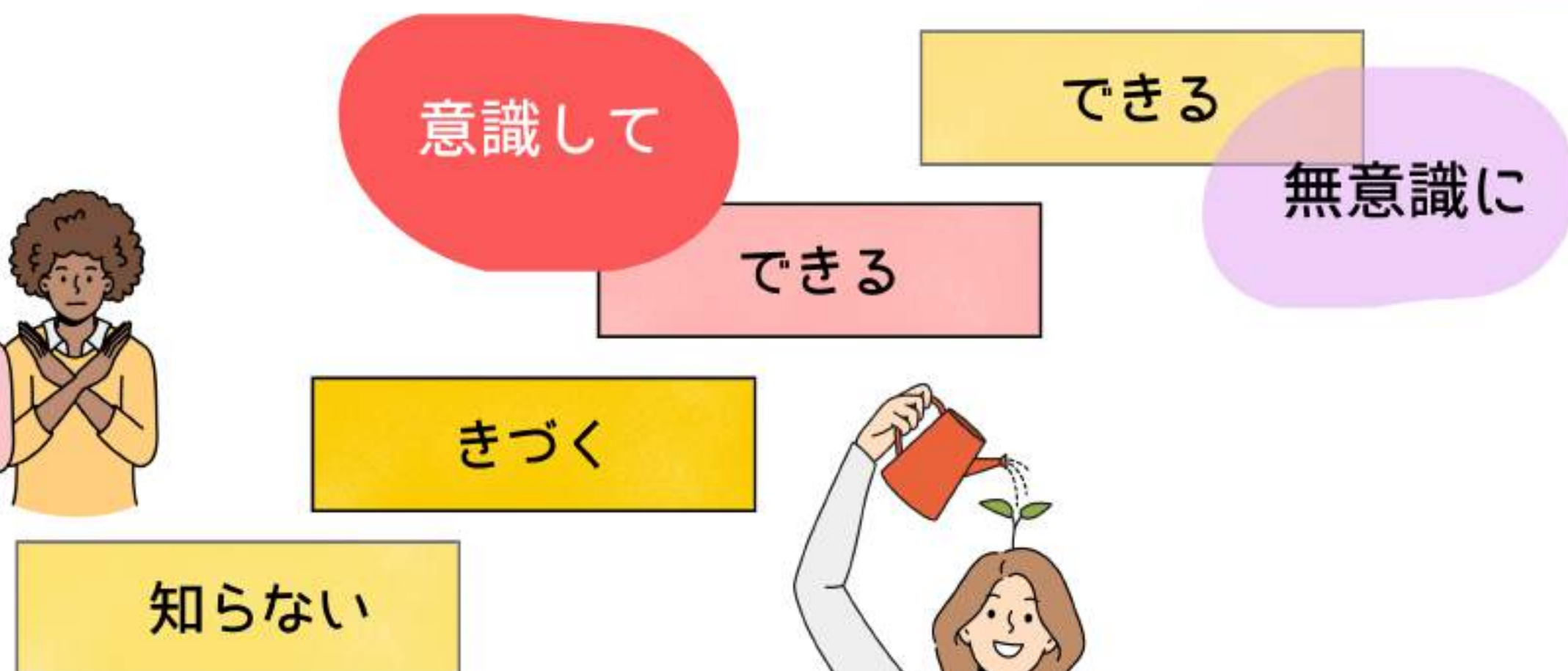


一人じゃないからできること
できる人ができる
ことをできるだけ

多様な人が活躍するから、多様な人が理解される…

「貢献」の階段をのぼろう！

- 誰もが、初めは「知らない」からスタート！



大切なのは Dialog（対話）！

問いに対して、答えではなく、新たな問いを持ち帰ること

対話は、一人ひとりの声を大切にします

一人ひとりの声を、小石を積み重ねるように、丁寧に一つ残らず、積み上げていく
プロセス

対話 ⇔ ディベート 選別 競争 否定



こころのバリアとは？

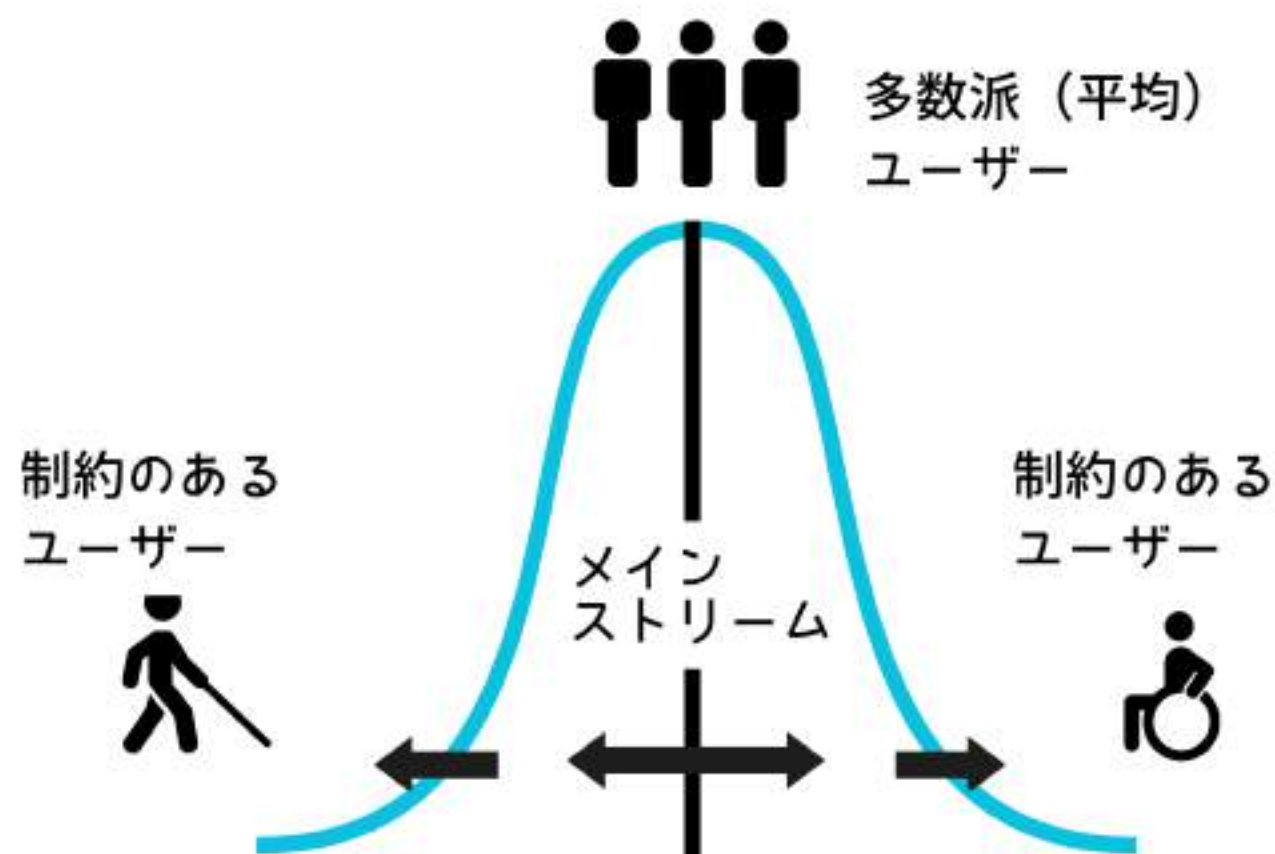
- 無意識の偏見
(unconscious bias)



「共感」のデザイン・みんなでクリエイティブ！

提供側の解決策

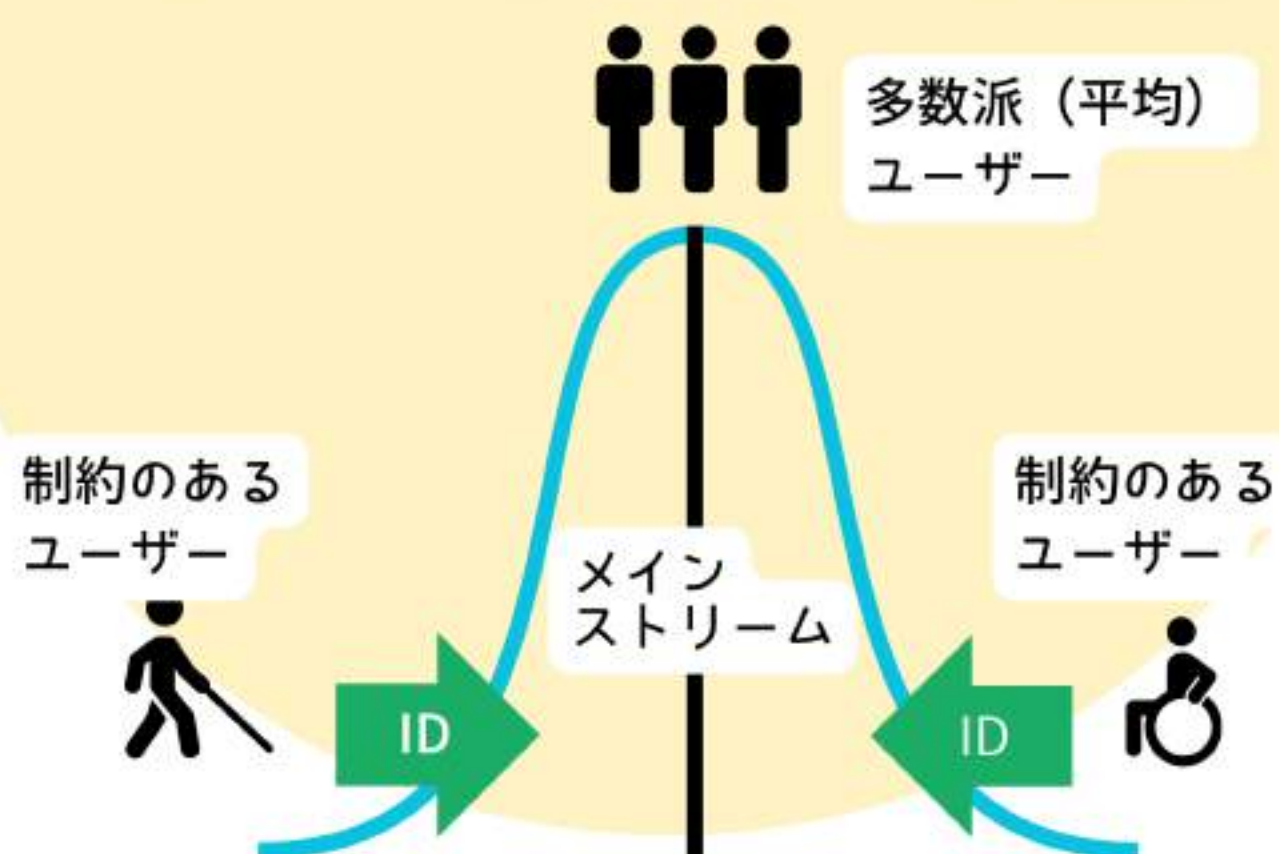
- 合理的な配慮の提供
- インサイドアウト
- メインストリームの延長



当事者参加の対話

- インクルーシブデザイン
- アウトサイドイン！
- 多様な人々の視点から新たな価値を創造

人口分布



社会のバリアとは？

「障壁」「壁」「障害」を意味する英語 (Barrier)

段差・階段・
狭い通路など

物理的な
バリア

制度的な
バリア

法律・制度・慣習
社会の仕組みなど

専門用語が多い
外国語など

文化情報の
バリア

心理的な
バリア

無関心・無理解・思い込み
特別扱い・決めつけなど

「障害」とは？

障害の社会モデル

「障害」とは目が見えない、歩けない、不安が強いなど、その人の特性だけに注目せず、外出できない、進学できない、働けない、結婚できないなど様々な活動に参加できない社会のしくみに課題があり、そのような社会と人との関わりから「障害・バリア」が生じるとする考え方が、国際的なルールとなりました。



1 障害をどのように捉えるか？

障害は個人に起きた悲劇・個人の問題
変わるべきは本人

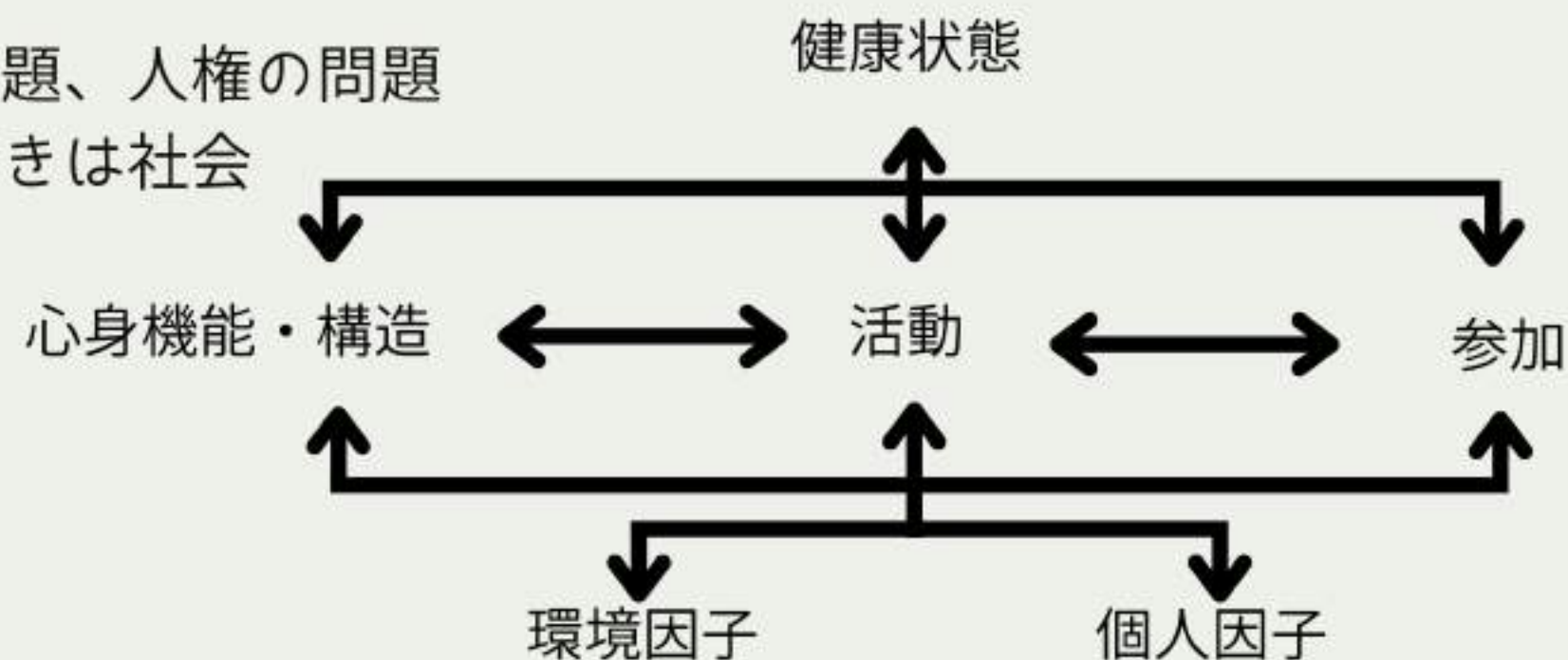
図1：ICIDH



2 障害の概念（ICF）が社会を変える

障害は社会の問題、人権の問題
変わるべきは社会

図2：ICF

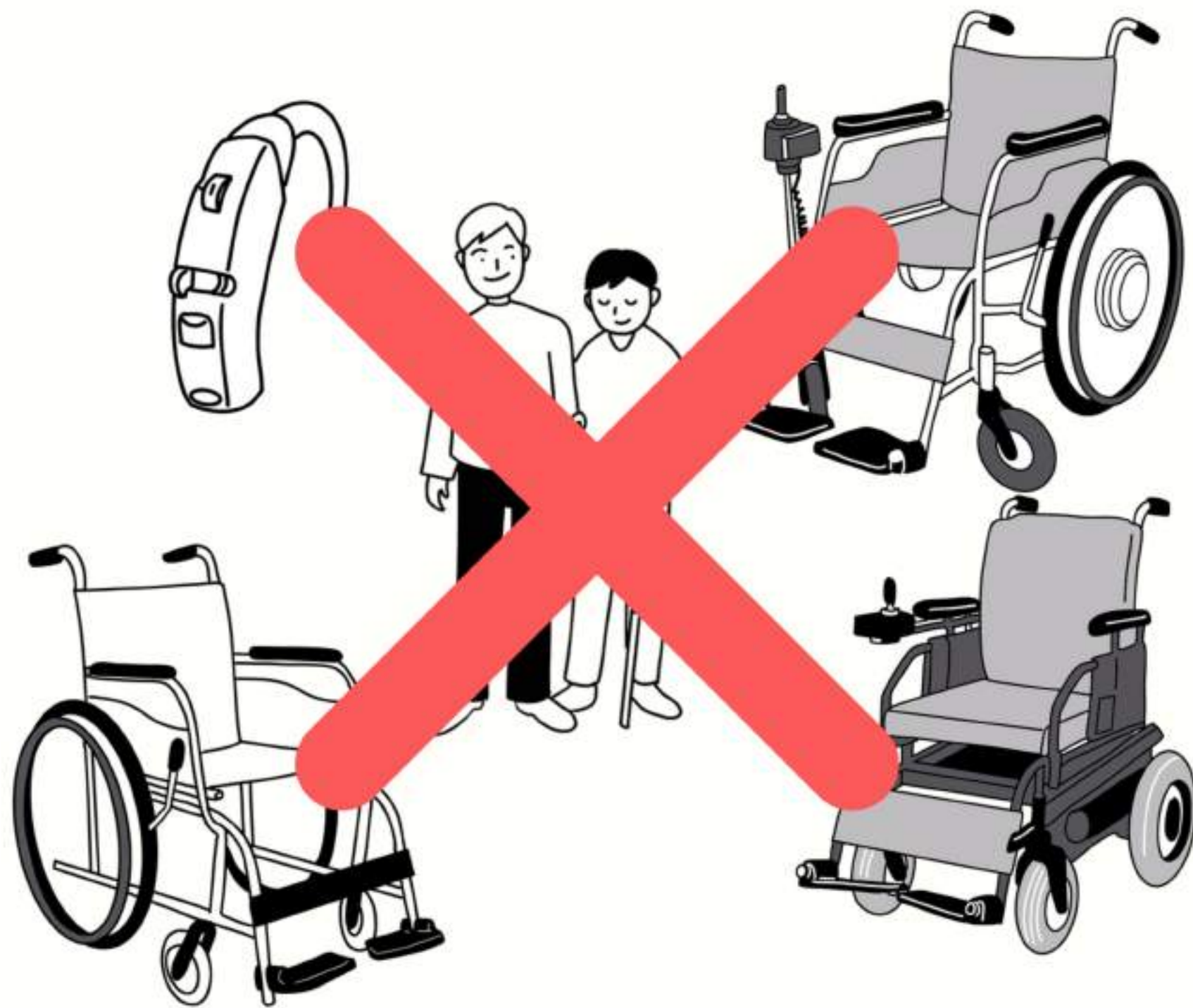


障害の社会モデルとボランティア活動

	医学（個人）モデル	社会モデル
障害とは	個人に起きた悲劇 個人の問題	社会の問題 人権の問題
中心的な考え	機能回復	人権回復
視点	変わるべきは障害当事者	変わるべきは社会
主な分野	医療・リハビリ	あらゆる社会活動 市民運動

障害＝社会のバリア

その人が、その人らしく
生きづらい環境（社会）



Inclusive Design

インクルーシブデザイン＝
ともに創る

できるだけ多様な人たちと
「ともに」あることで、
残念な結果を減らすことが
出来る

一度に大きな変化を起こす
ものではないが、
コツコツと積み重ねること
で新たな価値を生み
出すことができる

BF

バリアフリー

今、あるバリアを取り除く。

UD

ユニバーサル・デザイン

初めからバリアをつくらない。
＊UDの7原則

ID

インクルーシブ・デザイン

これまで除外されてきたユーザーと「ともに」
かつ、社会の主流のデザインをおこなう。

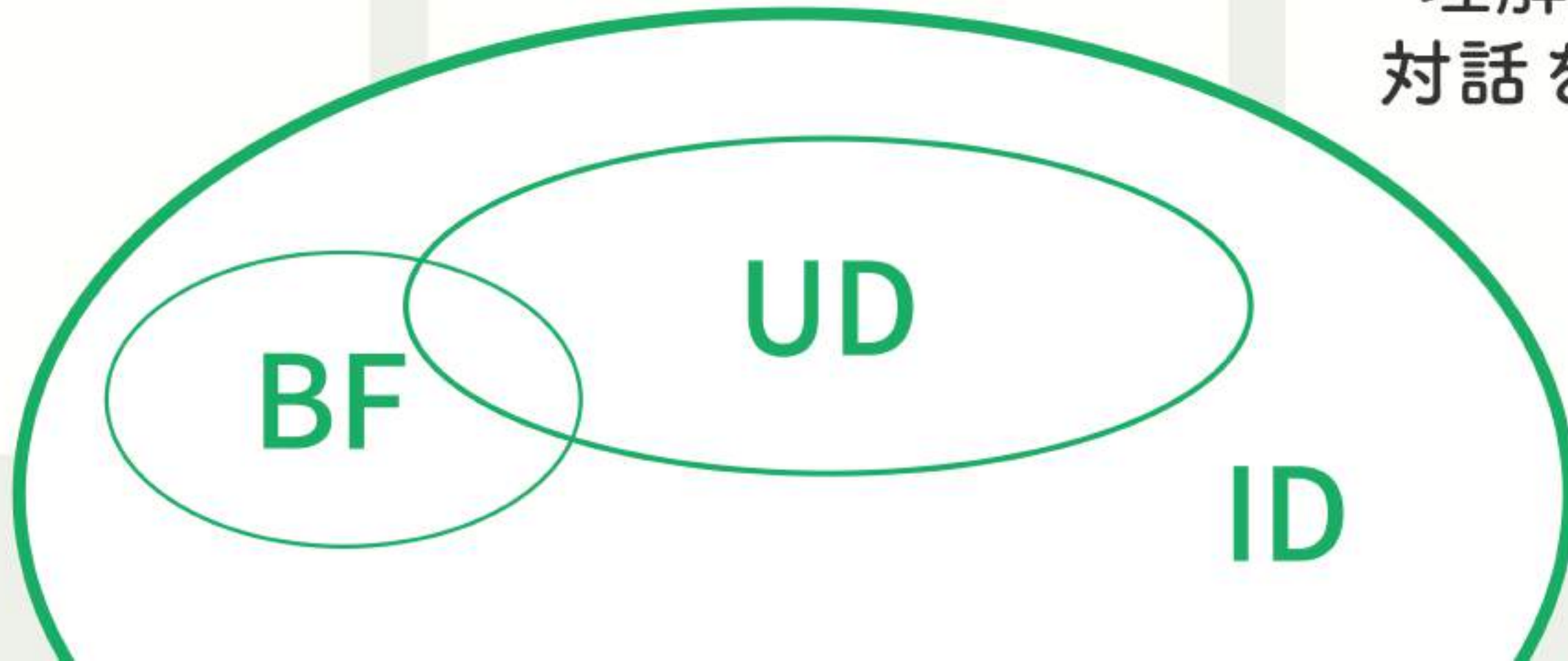
誰もが幸せな社会とは??

誰かの「笑顔」を想像してみましょう！

BFだけでは
解決できない

UDにも使い手の
視点が欠かせない

IDはコツコツ…
互いを尊重し
理解しあう心で
対話を積み重ねる



Inclusive Design

1999年 英国から
2010年代後半 米国へ

これまで除外（エクスクルード）されてきたユーザー層を包含（インクルーシブ）し、かつ社会実装できるデザインを目指す考え方

「障害」を人と人の間にある社会課題ととらえ日常の「気づき」から発想する考え方

1990

∞ 1 モノのデザイン

例) プロダクトデザイン
建物やモノのデザイン
＊ユニバーサルデザイン

2000

📖 2 コトのデザイン

例) サービスデザイン・デザイン思考
体験や教育などのデザイン
＊参加型プログラム

2010

🕊 3 変革のデザイン

例) 行政のデザイン
政策やまちづくり全体のデザイン
＊人に寄りそう やさしい社会

2020

みんなで
クリエイティブ！！



ともに

きづき



学び



貢献

プロセス



哲学的に对话？

もやもや哲学的对话ワークショップ

哲学的に考えて
对话（雑談）する場
哲学する場

当たり前に知っている概念（言葉）だけど
深く考えたことのないようなテーマについて
様々な問いを立て对话します

「ツキイチ对话サークル」
でお待ちしています！

おおむね毎月最終金曜日
20時～21時（オンライン）

コマーシャルです！





生き方の
デザイン
研究所

インクルーシブデザイン思考で社会を変えるNPO

お問い合わせ



093-953-6809

(営業時間 平日9:30~18:30)



staffdesign@aqua.ocn.ne.jp



www.ikikatanodesign.com/